

校務センター整備方針の考え方

【資料29】

文部科学省

※中央教育審議会（平成27年12月答申「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」）

方針：子供が成長していく上で、教員に加えて、多様な価値観や経験の持った大人と接したり、議論したりすることは、より厚みのある経験を積むことができ、本当の意味での「生きる力」を定着させることにつながる。

⇒「**チームとしての学校**」の実現を目指す

背景：①新しい教育方法等への授業改善

②いじめや不登校、貧困問題など、複雑化・多様化した学校の抱える課題を解決するための体制整備

③教員が子どもと向き合う時間を確保するための体制整備

⇒多くのスタッフが学校運営に参画する

府中市

■全体方針

- ・【3-(4)-③】教職員がそれぞれの力を発揮し互いに連携し合える、働きやすい環境を整備します。
- ・【3-(4)-④】学校管理職がリーダーシップを発揮し、学校経営のしやすい環境を整備します

■校務センターの諸室整備方針

- ・全ての教職員（教員、事務職員、用務員、特別支援関係職員など）が執務できる環境とする【3-(4)-③】
- ・管理職員が教職員の状況を把握しやすい執務環境とする【3-(4)-④】

背景：①職員室と事務室が独立しており、配置がバラバラである

②教職員間の連携を図りにくい

③学校管理者が教職員の状況や、事務職員と来校者の対応状況などが把握しづらい

<校務センター化のメリット>

- ①管理職、教職員、事務員、用務員が互いの居場所や出退勤の状況を把握しやすい。【他校視察】
- ②すべての職員と一緒に学校経営に係っているという自覚が生まれる。【協議会】
- ③他の職員の活動を把握することで、チーム全体で学校経営をするという感覚を共有できる。【他校視察】
- ④コミュニケーションが円滑になり、報連相を促進する。【協議会】
- ⑤職員室内に常に人がいるため、セキュリティ対策につながる。【他校視察】
- ⑥校長室への来客対応として職員・事務員が取り次ぎワンクッション入れることが可能。【協議会】

<校務センター化の留意点>

- ①個人用鍵付きロッカーを設ける等、情報セキュリティに配慮する。
- ②機密情報を扱う場合を考慮して、別途会議室を設ける。

チーム学校を実現するための施策の一つとして、教員・事務職員・用務員の執務エリアを一体とした**校務センター化**を図る。